

## Day1 A部門競技ルール

選手はステージ上で自ら選択した音楽を使い、2分以内のフリースタイル(自由演技)を行い技術・表現力をアピールする。

ヨーヨーはプレイスタイルに応じ以下の5部門に区別される。

選手の演技は各部門、選任された審査員によって審査される。

### 【1A部門】

- ・1つのロングスリープヨーヨーを使用する演技(ワンハンド・ストリングプレイ)

### 【2A部門】

- ・2つのルーピングヨーヨーを使用する演技(ツーハンド・ルーピングプレイ)

### 【3A部門】

- ・2つのロングスリープヨーヨーを使用するツーハンドストリングプレイ

### 【4A部門】

- ・糸とヨーヨーが離れるオフストリングプレイ

### 【5A部門】

- ・糸を指につけず代わりに重り(ダイス等)を使用するカウンターウエイトプレイ

## ★審査内容

### 【各部門の審査方法】

- ・技術点(TEA)50点
- ・技術評価点(TEB)30点
  - ソフィスティケート(SPT)
  - ノベルティ(NVT)
  - コンプリーション(CPT)

- ・表現点(PEA)20点
  - ミュージックニード(MIC)
  - ステージユース(STU)
  - ボディコントロール(BCL)
  - エンジョイメント(ENJ)

・「減点・追加減点」は無し。

・各ジャッジの加点クリッカー素点数を公開する。ジャッジ保護のため名前は非公開。

## 審査の内訳

「技術点50点 技術評価点30点 表現点20点 減点・追加減点無し」

## 各評価項目の説明

### ★ソフィスティケート / Sophisticated (SPT) 10点

→洗練度、クオリティ

- ・一つ一つのトリックは見やすいように洗練されているか。
- ・トリックのクオリティは高いものだったか。

### ★ノベルティ / Novelty (NVT) 10点

→新規性、斬新さ。

- ・フリースタイル中に行われたトリックに新規性や斬新さはあったか。

・観客があっと驚くようなトリックをフリースタイル中に行っていたか。

★コンプリーション / Completion (CPT) 10点

→フリースタイルの実行度。完成度。

- ・フリースタイルが予定通りに実行できているか。
- ・1つ1つのトリックが危うげなく実行されているか。
- ・トリックミス、コントロールミスを行っていないか。

★ミュージックニード / Music Need (MIC) 5点

→音楽の必要性、振付

- ・音楽の雰囲気とトリックの雰囲気があっていたか。
- ・トリックと音楽のテンポがあっていたか。
- ・音楽を意識したフリースタイルになっているか。
- ・その曲への愛を感じるものだったか。

★ステージユース / Stage Use (STU) 5点

→ステージ活用

- ・一か所にとどまらず、ステージを広く効果的に使い演技を行っているか。

★ボディコントロール / Body Control (BCL) 5点

→ステージ上での動き、所作の綺麗さ。

- ・ステージだということを意識していたか。
- ・堂々としていたか。
- ・演技中の姿勢に意識を感じられたか
- ・トリックの動きに対して体の動きが不自然になっていなかったか。

★エンジョイメント / Enjoyment (ENJ) 5点

→自身が楽しめていたか、観客への意識

- ・フリースタイルを楽しめていたか。
- ・観客を意識したフリースタイルだったか。
- ・ステージ上で不愉快な顔や態度をとっていないか。

★使用楽曲

- ・フリースタイル競技に使用する楽曲を事前にデータにてご提出いただきます。
- ・Fワードによる縛りはありませんが、注意が必要です。※失格対象を参照
- ・音響トラブルに備え、予備のCD-Rやイヤホン端子が差し込めるmp3プレイヤーを用意されることをお勧めいたします。

★失格対象

- ・ジャッジ席を超えてヨーヨーが危険な速さで飛散した場合(パーツ含む)
- ・危険行為と公共性に反する行為。
- ・曲の大半がFワードで構成されていたり、あまりにも性的な表現が含まれているといった場合